

7日目 9月30日

会 場: 松江市営野球場

第2試合		～準決勝～																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
矢 上		0	0	0	0	0	0	0	0	3							3	4	2
大 社		1	0	0	1	0	0	0	0	0							2	7	3
(投手―捕手)																			
・ (矢)		皆吉 - 花田																	
・ (大)		馬庭 - 石原																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (矢)																			
・ (大)		馬庭																	
(審判)〔球審〕		下谷				〔一塁〕林				〔二塁〕中島				〔三塁〕門崎					
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(矢)	37	4	1	0	0	0	3	5	2	0		1		2	0	0	0	0	
(大)	36	7	2	1	0	0	11	2	2	0		0		3	0	0	1	0	

「大社、守りのミスに泣く」

準決勝第2試合は2020年度秋以来の優勝を目指す矢上と死のブロックを勝ち上がってきた大社の対戦となった。矢上はエース皆吉が先発した。立ち上がり制球が安定せず、1回裏に安打と犠打、四球で2死1・3塁とし5番の高梨に適時打を許し大社が1点を先制する。続く下条も鋭いライナーを放ったが左翼手の好捕に救われた。2回以降徐々に立ち直りを見せたが4回に2死から安打で1塁とし、8番の馬庭が左中間を破る適時二塁打を許し大社が追加点を挙げた。しかし、6回以降は圧巻の投球内容で12アウトの内8アウトを三振で奪った。

大社もエース馬庭が先発した。6回を除いて安打を殆ど許さない投球で矢上打線に得点を許さなかった。7回から大雨が降りグラウンド状況が一変する。すると9回表に1死から死球を出すと不運な当たりで1死1・2塁となり、矢上の代打平賀の放った緩い打球を遊撃手が悪送球し矢上が同点に追いつく。なおも1死3塁で8番柳井が一二塁間を破る適時打を放ち、矢上が土壇場で逆転し決勝進出を決めた。

〔野手成績〕

[illegible][illegible][illegible][illegible]